

# 2023 年度 0 時間目の記録

2023 年4月17日(月)～ 23日(日)

## 栽培中の植物

- ジニアプロフェーション
- バジル
- マリーゴールド
- コリウス
- エダマメ
- ハツカダイコン

## 栽培管理内容

日時	天気	気温(℃)	管理・植物の様子・指導
		最高(℃)	
		最低(℃)	
4/17(月) 8:30	晴れ	気温(20℃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すべての植物に灌水行う</li> <li>● 防虫対策として、人工的な化学成分のない植物油由来の農薬を使うと良い。昆虫の呼吸器官である気門をコーティングして死滅させる。また、化学成分が含まれる農薬では、それぞれ異なる化学成分が入った農薬を用いて、薬剤耐性につかないように工夫する。</li> <li>● 野菜苗のように直接、人の指で植物に触れると発育が悪くなる場合アブラムシなどの害虫は濡れたティッシュなどで拭き取る。特に野菜は敏感なので触る回数を減らす。</li> <li>● 子葉の形が変形している場合は、種子が古くて子葉の栄養分が消耗していた、種皮がはがれる時にうまくいかず傷ついた、子葉の時に虫に食われたなどの可能性がある。</li> <li>● 土に栄養がないと子葉からの黄化が早い。その際は肥料などで調整する。→4/11 参照。</li> <li>● 植物には葉序(葉のつき方の決まり)がある。葉序通りに成長していない植物は光の影響などに偏りが無いか観察し、トレイの向きを変えるなどで対応する。</li> <li>● コリウスの芽が出てきたので、湿度を保ちながら光を与えるために鉢に被せていた透明ファイルを網に代えた。</li> </ul>
		最高(25℃)	
		最低(9℃)	
4/18(火) 8:30	晴れ	気温(20℃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植物への灌水行う</li> <li>● AM:気温 20℃のため出入口の窓を開けて網戸にする。13時風のため窓を閉める。</li> <li>● 化成肥料には即効性と緩効性がある。液肥は即効性。</li> <li>● 病気株には施肥しない。カビや細菌などの病原菌が肥料の窒素分を吸収して余計に病気が進行する可能性あり。</li> </ul>
		最高(23℃)	
		最低(11℃)	

## 2023 年度 0 時間目の記録

			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 液肥は灌水時に希釈して行う。ただし晴れや風の強い日は土や植物にかかった溶液が乾燥して、希釈した液肥の濃度が上昇しやすいので注意が必要。やや薄めに希釈したり、カーテンで日陰を作ったりするなど乾燥しにくい環境づくりをする。</li> <li>● 液肥を与えた翌日は葉の状態を確認し、変化がないかよく観察すること。特に、液肥をかけたどの葉にも縮れがある場合、液肥が濃く、浸透圧の関係で葉に水分が液肥の溶液に奪われて葉が縮れた可能性がある。</li> </ul>
4/19(水) 8:00	雨	気温(16℃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農薬の見方→成分表を見て対象の野菜と害虫を確認する。収穫時期を考慮して使用する。</li> <li>● 農薬は同じ系統ではない成分のものを2種類かけるとよい。散布回数と散布してよい時期を守る。</li> <li>● 「ロハピ」は有機成分であるため効果は緩やかであるが、植物への薬害は少なめであり、回数に制限がないため害虫を見つけたらすぐに散布してよい。</li> <li>● 昨日液肥を与えたが、肥料やけていないのを確認し、日陰を作るために閉めていた寒冷紗を開けた。</li> <li>● 二十日大根の間引きを行う。</li> <li>● 灌水は行わなかった。</li> </ul>
		最高(24℃)	
		最低(16℃)	
4/20(木) 8:00	曇り	気温(19℃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 野菜苗にアブラムシがいたので、濡れたティッシュで拭き取り、駆除した。</li> <li>● 野菜が成長し、葉が重なってきたので間隔をあけて日当たりが良くなるようにした(=スペーシング)。</li> <li>● 朝は湿度が高く、土が湿っていたので灌水せず様子を見たが、日中気温が高くなり、渴きが気になった花苗に灌水を行った。</li> </ul>
		最高(24℃)	
		最低(15℃)	
4/21(金) 8:30	晴れ	気温(22.5℃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 二十日大根:追肥したことで、子葉が大きく成長</li> <li>● セルトレイの底から根が出始めている(播種から1週間~10日程度)</li> <li>● 葉についている白いものは、アブラムシの脱皮した抜け殻</li> <li>● トマトの脇芽取り行う。脇芽は元の葉柄に対して90度横に倒すようにして折り取ると葉柄を傷つけにくい。</li> <li>● 野菜の灌水は、根から1番離れた葉を見て、葉身が下がっていたら水分が足りてないと判断する。ただし、葉の重みや光の受け方の場合もあるので考慮する(株間が狭く、上から光があたらず側面からあたる場合は、葉身が下がって</li> </ul>
		最高(28.5℃)	
		最低(14.5℃)	

## 2023 年度 0 時間目の記録

			<p>いる)。また土が湿っているのに葉身が下がってしまった場合は蒸散が盛んとなっているため、日陰にして様子を見る。土が湿っているのに水を与えてもかえって根を傷めてしまう。日陰に置いて、霧吹きなどでしおれた葉を湿らすことは効果的。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ナスは、鉢土の乾燥に強いトマトと異なり、常に十分な水分が必要なため、鉢内の水を切らさないように注意する。</li> <li>● 14 時頃、ナス、トウガラシの苗に灌水する。</li> </ul>
4/22(土)	晴れ	気温(19℃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トマト、ナスに灌水。</li> <li>● アブラムシの除去</li> </ul>
		最高(29℃)	
		最低(9℃)	
4/23(日)	晴れ	気温(19℃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温が上がってきているため、花苗は毎朝灌水を行うこと。</li> <li>● 二十日大根の間引きを行う</li> <li>● エダマメ初生葉が大きくなっており、下の節から葉が出ている。</li> </ul>
		最高(28.5℃)	
		最低(9℃)	

# 2023 年度 0 時間目の記録

## 写真



4/18(火) 液肥を与える



4/19(水) 農薬の成分表



4/21(金) トマトの脇芽



4/21(金) トマトの脇芽取りの様子